

東海道と浮世絵解説

静岡で
シンポ 薩埵峠難所ぶりも

東海道と浮世絵をテーマにしたシンポジウム(徳川みらい学会、二峠六宿道旅推進実行委員会主催)がこのほど、静岡市葵区の市民文化会館で開かれた。歴史研究者ら4氏が講演した。

静岡大の本多隆成名誉教授は県内の峠や宿場町について解説した。薩埵峠(さつたとうげ)に関しては「近世の初めごろまでは東海道は岸壁沿いにあつたため、干潮時でなければ通れなかった。『親

知らず子知らず』の難所と呼ばれた」などと紹介した。シンポジウム後には



静岡県内の峠や宿場町について解説する静岡大の本多隆成名誉教授
＝静岡市葵区の市民文化会館

「第1回徳川記念財団コンクールin静岡 徳川家康公顕彰四百年記念作文コンクール」(同財団主催、徳川みらい学会共催、静岡新聞社・静岡放送後援)の表彰式も行われた。